

第5章 ビール類

第1節 ビール類の需給動向

ビールの出荷は32年前の1987年に初めて500万klを突破、早くも翌々年の89年には600万kl台、その5年後の94年には史上最高の713万5,020klを記録するなど、右肩上がりそのものだった。ビール酒造組合のデータでみても、ようやく200万klに届きそうだった65年から猛暑特需でピークとなった94年までの30年間で、出荷量が前年実績を割った年はわずか3回。その背景には、順調な経済成長と、その根底にあった継続した人口増があった。

ビール出荷がピークだった94年の秋には発泡酒が一部地域で登場、翌95年には全国展開され、事実上初の新カテゴリー誕生となったが、ビール単体の出荷は6%減少。以降、翌96年に1%だけ回復したのを最後に、一貫して減少し、2018年はピーク時の約34%まで縮小した。

ビール+発泡酒としては、発泡酒が全国展開された95年の合計出荷が691万kl。前年比3.1%の減少。前年の猛暑特需の反動が主因だったが、以降は、発泡酒が順調に拡大を続けた96年から2001年まで小幅増減を繰り返しながら710万kl前後を堅持していた。

それが、02年をキッカケに状況が一変した。同年の出荷は2.6%減の693万kl、7年ぶりの700万kl割れだった。翌03年も6.3%減の650万kl。同年には新ジャンルが一部地域で登場、翌04年には全国展開で急拡大、ビール・発泡酒・新ジャンル合計の出荷は0.8%増となった。しかし、以降は一貫して減少が続き、09年には600万kl割れ、18年には500万klをも下回る結果となった。ビール単体で叩き出した94年の最高値を100とすれば、18年の3カテゴリー合計出荷の498万6,858klは69.9。安価な発泡酒が急増、それ以上に低価格な新ジャンルが台頭、急拡大しても、ビール単体で作り上げた最高値より約30%も市場が縮小したことになる。なお、8年連続でプラス成長をみせた発泡酒も、03年には1%ながら減少に転じ、「糖質0・ブリン体0」製品の人気でプラスとなった14年、15年と、健康機能系商品を除き、消

費は漸減状態にある。

登場以来、ビール類で最安値を武器に急成長を続けてきた新ジャンルも、11年～13年の伸長率は1～2%にトーンダウン、「プリン体0・糖質0」商品の登場で徐々にプラスとなった発泡酒の影響を受けた14年以降は減少に転じ、けん引役が不在の状況が続いた。それが18年になって、麒麟の「本麒麟」が大ヒットしたことと、これまで韓国産だった流通大手のPBを同社が受託生産に踏み切ったことで、同年の出荷は3割にも迫る増加となった。19年には他社の新ジャンル新製品も好調な売れ行きを示し、1～9月の大手4社新ジャンル販売実績は、10月の消費増税を目前とした仮需も加わり7%伸長、3カテゴリー計を1%増に押し上げた。

総市場が連続して縮小している最大の要因は、飲酒人口の高齢化と若者の酒離れで酒類全体の消費が滞っていること、さらには、生産年齢人口がすでに90年代後半から減少に転じたこと、全人口も05年から減少期に入ったことが大きい。また、相変わらず拡大を続けるチューハイなどのRTDとウイスキー・ハイボールや、グラス売りなど飲用シーンや低価格帯への広がりをみせているカジュアルワインなどへの消費シフトが業務用・家庭用双方の市場で進んでいるのも一因だ。

こうした消費停滞の打開策のひとつとして注目されているのがクラフトビールだ。大手4社も、取り組む姿勢こそ違え、それぞれでクラフトビール事業の拡大に注力しはじめている。一致している見解は、「主流にはならないが、消費の刺激には有効」ということだ。だが、そもそもクラフトビールの愛飲者と、一般的なナショナルブランド愛飲者、特に発泡酒・新ジャンル愛飲者の間には相容れぬ嗜好の隔たりがあることから、その効果については疑問視する意見も少なくない。ちなみに、現時点でのクラフトビールは、一般的なビール類の1%程度と言われている。

表5-1

ビール類の月別販売数量（推定）

[ビール]

（単位：ビール大びん千箱，％）

月別	2017 年				18 年				19 年（1～9月）			
	数量	前年比	累計	前年比	数量	前年比	累計	前年比	数量	前年比	累計	前年比
1	9,430	103			9,240	98			9,320	101		
2	11,850	94	21,280	98	12,680	107	21,920	103	10,880	86	20,200	92
3	16,810	100	38,090	99	15,240	91	37,170	98	14,520	95	34,720	93
4	16,470	96	54,560	98	15,090	92	52,260	96	15,970	106	50,690	97
5	18,030	110	72,580	101	15,420	86	67,680	93	14,780	96	65,470	97
6	18,530	92	91,110	99	17,780	96	85,460	94	16,750	94	82,220	96
7	20,600	97	111,690	98	19,840	96	105,300	94	17,730	89	99,940	95
8	19,220	93	130,920	98	18,880	98	124,170	95	18,260	97	118,200	95
9	15,010	96	145,920	98	13,600	91	137,780	94	15,340	113	133,550	97
10	14,990	94	160,910	97	14,510	97	152,280	95				
11	16,310	99	177,220	97	16,040	98	168,330	95				
12	25,370	97	202,590	97	22,770	90	191,100	94				

[発泡酒]

月別	2017 年				18 年				19 年（1～9月）			
	数量	前年比	累計	前年比	数量	前年比	累計	前年比	数量	前年比	累計	前年比
1	2,940	111			2,760	94			2,770	100		
2	3,880	93	6,810	100	3,640	94	6,400	94	3,310	91	6,080	95
3	4,680	98	11,490	99	4,400	94	10,800	94	3,740	85	9,820	91
4	4,560	94	16,050	98	4,270	94	15,080	94	4,130	97	13,960	93
5	5,370	111	21,420	101	4,290	80	19,370	90	3,970	92	17,930	93
6	4,480	96	25,900	98	4,440	99	23,800	92	3,990	90	21,910	92
7	5,050	95	30,970	97	4,750	94	28,560	92	4,070	86	25,980	91
8	4,780	94	35,750	97	4,390	92	32,940	92	4,280	98	30,260	92
9	4,520	89	40,270	96	3,980	88	36,930	92	4,580	115	34,840	94
10	4,350	96	44,620	96	4,180	96	41,110	92				
11	4,350	98	48,980	96	3,990	92	45,100	92				
12	5,350	95	54,320	96	4,710	88	49,800	92				

注）日刊経済通信社の推定値（販売ベース）。大手4社計。

表5-2 ビール類の月別販売数量（推定）

[新ジャンル]

(単位：kl, %)

月別	2017 年				18 年				19 年（1～9月）			
	数量	前年比	累計	前年比	数量	前年比	累計	前年比	数量	前年比	累計	前年比
1	7,390	103			7,430	101			8,660	117		
2	10,390	99	17,770	103	9,640	93	17,070	96	11,370	118	20,030	117
3	11,540	97	29,310	101	12,810	111	29,870	102	12,980	101	33,010	111
4	12,450	97	41,760	100	12,650	102	42,530	102	13,600	108	46,610	110
5	14,280	116	56,040	103	13,070	92	55,600	99	13,290	102	59,900	108
6	12,160	87	68,200	100	14,120	116	69,720	102	13,610	96	73,510	105
7	13,270	102	81,470	100	14,500	109	84,220	103	13,910	96	87,410	104
8	12,580	95	94,050	99	13,490	107	97,700	104	15,260	113	102,680	105
9	12,360	98	106,410	99	12,710	103	110,410	104	15,410	121	118,080	107
10	11,230	93	117,640	99	12,450	111	122,850	104				
11	11,490	100	129,130	99	12,120	106	134,970	105				
12	13,650	99	142,770	99	14,040	103	149,010	104				

[総合計]

月別	2017 年				18 年				19 年（1～9月）			
	数量	前年比	累計	前年比	数量	前年比	累計	前年比	数量	前年比	累計	前年比
1	19,750	107			19,420	98			20,750	107		
2	26,110	96	45,860	100	25,970	99	45,390	99	25,560	98	46,310	102
3	33,030	99	78,890	100	32,450	98	77,840	99	31,250	96	77,550	100
4	33,480	96	112,370	99	32,020	96	109,860	98	33,700	105	111,260	101
5	37,680	100	150,040	102	32,780	87	142,640	95	32,030	98	143,290	101
6	35,170	89	185,210	99	36,340	103	178,980	97	34,350	95	177,630	99
7	38,910	98	224,120	99	39,090	100	218,070	97	35,700	91	213,340	98
8	36,590	94	260,710	98	36,750	100	254,810	98	37,810	103	251,140	99
9	31,890	96	292,600	98	90,290	95	285,100	97	35,330	117	286,480	101
10	30,580	94	323,170	98	31,140	102	316,250	98				
11	32,150	99	355,330	98	32,150	100	348,400	98				
12	44,360	97	399,680	98	41,520	94	389,910	98				

注）日刊経済通信社の推定値（販売ベース）。大手4社計。